

半世紀ぶりのスケート

根室市外三郡医師会
町立中標津病院

島野 敏司

学生時代、自分はスキー部（アルペン）に所属し、足腰を鍛えるため毎日のように走っていた。そのせいか、卒業後も常々、体を動かしたいと思うようになった。とはいえ、学生時代のように走る気力も体力もない。そこでより気楽に行える、水泳を継続してきた。大会やクラブに参加するほどではなく、週1回のプール通いを習慣としてきた。小樽協会病院、済生会小樽病院時代は、板谷スポーツクラブ・ウェルビーで、斗南病院、市立札幌病院時代は、琴似セントラルスポーツクラブで、札幌社会保険総合病院時代は、新さっぽろコナミスポーツクラブで、北見日赤病院時代はフィットネスクラブ北見で、町立中標津病院では、町立中標津プールを利用していた。勤務先の必須条件は、「プールがある街」であった。

中標津に来て5年目の冬を迎えるが、毎年、12月に入ると1ヵ月間プールはお休みとなる。その理由は、プールの職員がスケートリンク場を運営するために駆り出されるからである。この期間の運動を維持するため、数年前から歩くスキーをしていた。しかし、今年は、歩くスキーをしようにも運動公園に雪がない。さて、どうしようか？ 去年、雪はあつ

たが、毎週末土日にオホーツクの爆弾低気圧が来襲し、外出できない日が多く、歩くスキーも思うようにできなかった。今年は、プールは閉館しているし、雪もない。そこで、プールの職員同様、職場替えではないが、スケートをすることにした。スケートをするのは小学生以来になるだろうか。勇気を出してスポーツ用品店「ピア」にスケート靴を買いにいった。昔、懐かしいSSS（サンエス）のスケート靴が、サイズも豊富にスケートコーナーに並んでいた。思ったよりも安くスケート靴が買えたことに気を良くしながら、スケートリンク開幕を待つことにした。

2015年12月19日（土）PM 3時ごろ、運動公園で歩こうと思って行くと、スケートリンクにスケーターが5～6人いるではないか。早速、スケート靴を取りに家に帰り、リンクに戻ってきた。使用料は103円。「オー安い」。スケート靴の紐を縛り上げ、いざ、リンクへ！ まあ、転ばないで滑れそうである。しばらくして慣れてくると、実に愉快になってきた。空気はひんやりとし、動かしている体に心地よい。夕暮れの水銀灯に照らされたリンクも、周りの木々も美しいし、今後も楽しめそうだ。

札幌大地域医療支援センターの推薦でこの地に来たが、思いがけず、歩くスキー、スケートと巡り合った。小学校低学年に小樽の桜ヶ丘球場のリンクで覚えたスケートは、半世紀経ってもまだ、体に残っていた。小樽、札幌勤務もいいが、道東の厳しい冬もそれなりに楽しめ、豊かな自然に浸かるのもいいものである。僻地病院勤務も捨てたものではない。

北海道医師会 育児サポート事業のご案内

病児・病後児の預り時に、 ぜひご利用ください！

北海道医師会が利用料金の一部を負担する、会員限定の利用券での支払いが可能です。



子育て中の医師の仕事と家庭を両立するためのサポートです。

お問合せ先

一般社団法人 北海道医師会 事業第五課

〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目 FAX 011-231-7272

TEL 011-231-1434 E-mail 5ka@m.doui.jp

